

令和5年度（2023年度）学校評価について【星置校舎】

1、保護者アンケートについて

（1）回答率

昨年度より Google Forms による回答方式への変更を試みた。その影響もあり、昨年は46.8%にとどまったが、今年度は53.0%であった。次年度以降もべ切前の告知メールを継続するなど工夫し、回答率向上を図る必要がある。

【内訳】 ・星置小学部 60.8%（62／102）
・星置中学部 45.6%（26／57）
・星置訪問部 11.1%（1／9） ※Google Forms による回答者

（2）分析および考察

①今年度の全体的な傾向

・昨年度と比較すると中学部で若干の低下が見られたものの、全体としては増減がほぼ無かったことから、今年度も本校の教育活動について一定の評価をいただけていると思われる。

②高評価項目

・全項目とも平均ポイントを上回っており、ばらつきや落ち込み等は見られない。

③低評価項目

・全項目とも A・B 評価がほとんどだが、あえてあげるとすれば、昨年同様、5（地域との連携）については若干低い結果となった。

④その他（自由記述欄含む）

・全般的に本校の教育活動を評価する好意的なコメントが多く、とりわけ、きめ細かな指導・支援や家庭連絡に関する謝辞が多い。
・その一方、ごく一部ではあるが、教員の指導に関すること（小学部と中学部の違い等）について不安を感じるとの指摘があった。

3、教職員アンケートについて

（1）回答率

保護者同様、昨年度より Google Forms による回答方式への変更を試みて、昨年度は73.1%だったが、今年度は43.4%にとどまった。次年度以降については保護者同様の対応が必要である。

【内訳】 ・星置小学部 52.0%（26／50）
・星置中学部 24.0%（6／25）

- ・星置訪問部 100.0% (4 / 4)
- ・事務部 0.0% (0 / 4)

(2) 分析および考察

①今年度の全体的な傾向

- ・質問項目は保護者アンケートとおおむね同じ内容であるが、全項目で保護者評価よりも評価が低い結果となっている。職員が現状を善しとせず、保護者よりも厳しい目線で自己評価できていることは健全であると言える。

②高評価項目

- ・4 (安全・安心) が他項目と比べて高く、感染症予防を含めた児童生徒の健康・安全に対する意識の高さがうかがえる。
- ・20 (服務規律の遵守) について、昨年同様、高いポイントを示しており、日々、人権を尊重した指導を心がけていることがうかがえる。

③低評価項目

- ・3 (地域資源の有効活用)・13 (地域学習) については、他項目と比べて低くなっており、コロナ禍以降の地域連携を含めた学習活動の難しさが表れた結果となった。

④その他 (自由記述欄含む)

- ・昨年度、多数見られた働き方改革に関する意見は見られなかった。昨年度よりポイントも上昇しており、改善していると考えている職員が多いことがうかがえる。

4、まとめ (学校課題および今後に向けての改善の方向性等)

コロナ禍以降の教育活動の在り方について、今後、どのように地域との連携を深めていくかが大きな課題と言える。今年度よりコミュニティ・スクール (学校運営協議会) が本校でも設置された。今後、地域資源の活用や交流等をより一層深めるべく、具体的な手立てや取組について、活発な議論が必要である。